

2023年5. 15 平和行進へ参加して

沖縄地方本部 青年部書記長

砂川 慶成

昨年に続き今年で二回目の参加となりましたが、沖縄戦に関することや、米軍基地問題など地元沖縄のことにも関わらず、私自身まだまだ問題意識が低く、とても恥ずかしいと感じました。

戦後の平和な時代に生まれた私にとって沖縄戦はどこか現実味がなく、また、基地問題についても基地のある風景、ヘリコプターや戦闘機が騒音を立てながら飛行していることが当たり前で、この現状が変わることはない諦めてしまい、興味・関心を持たず、何も感じないようになっていたことに気付きました。

ただ、平和行進に参加することがなければ沖縄について考えることも、また自分自身を見直すこともなく、ずっと無関心のままだったと思います。

今回の平和行進を通して、色々な気付きや以前とは違った考え方を持てたことは私にとって非常に良かったと思います。

現状、沖縄県は嘉手納基地撤退や、辺野古新基地建設反対を訴えておりますが、国は沖縄県の意見を尊重せず基地建設などを強行しております。

今回の平和行進に参加したことで、「最後まであきらめずに声を上げ、行動し続けることが大切」だということを感じました。

今すぐに何か変わるということはありませんが、これから同じ気持ちを持つ『仲間』を1人でも増やし、決してあきらめることなく行動することで、いつか現状を変えることができる大きな力になると信じています。

私自身、今後は沖縄が抱える問題にもっと興味・関心を持ち、自分の考えや意見を発信していけるように日頃から強く意識したいと思います。

最後になりますが、今年も全国各地からご参加いただきました全港湾・全日建・全国一般の皆様、3日間の平和行進本当にお疲れ様でした。

また、来年皆さんにお会いできることを楽しみにしております。